

## Measure ソフトの使用方法

### 1. システム条件

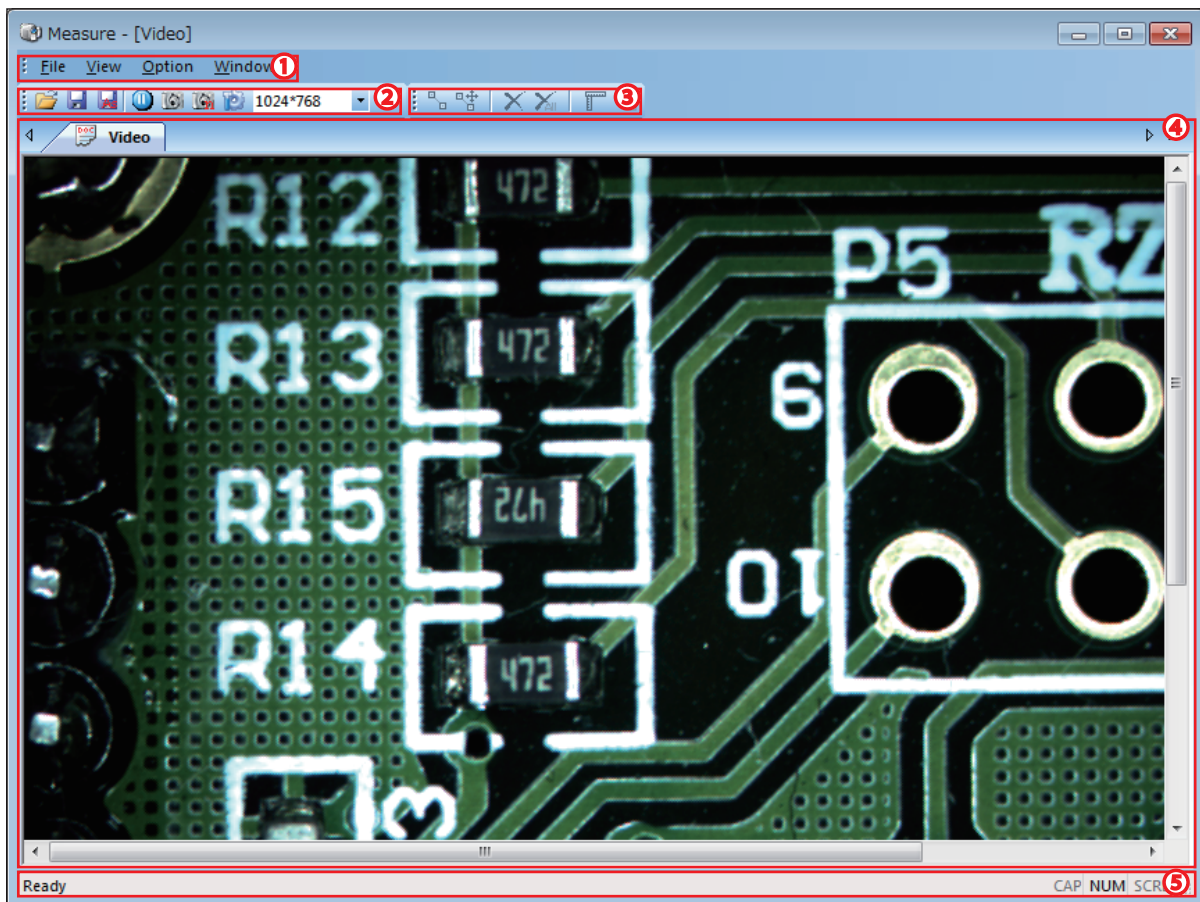
OS : Windows XP 以降 (Windows XP, Vista, 7, 8,10) 32bit, 64bit 両対応

CPU : Pentium 4 以上

メモリ : 1GB 以上 (2GB 以上推奨)

インターフェース : USB2.0, USB3.0

### 2. 画面説明



#### ①メニューバー (P.2 参照)

ソフトウェアの基本的な操作を行うメニューです。

#### ②ツールバー (P.4 参照)

画像の保存や解像度切替、カメラプロパティの設定などの操作を行うメニューです。

#### ③メジャーバー (P.5 参照) ※メジャーバーは映像が停止している状態でのみアクティブになります。

2点間距離測定と測定を行うための校正操作を行うメニューです。

#### ④プレビューウィンドウ

ライブ映像や静止画像を表示するウィンドウです。

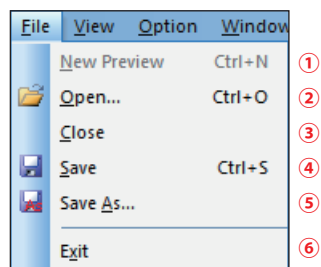
静止画像は複数表示することができ、上部のタブで複数のウィンドウを管理できます。

#### ⑤ステータスバー

現在の状態を表示するステータスバーです。

### 3. メニューバー詳細

#### ■File メニュー



#### ① 【New Preview】

ライブ映像が表示されていない時に、ライブ映像を表示します。

#### ② 【Open...】

任意のファイルから静止画を読み込みます。

読み出した静止画は計測することができ、また複数の静止画を読み出すことができます。

#### ③ 【Close】

現在選択している画面（アクティブウィンドウ）を閉じます。

#### ④ 【Save】

ワンクリックで画像を保存します。

この機能を使用する際は、画像を保存するための初期設定を行う必要があります。

初期設定は後述 **Option メニュー** の **【Save Option】** の項目を参照して下さい。(P.3 参照)

#### ⑤ 【Save As...】

ファイル名を付けて画像を保存します。(\*1)

#### ⑥ 【Exit】

ソフトを終了します。

#### (\*1) 【Save As...】 について

右図のメニューでファイル名や保存場所を設定して保存します。

#### ① 【File Name】

保存する画像の任意のファイル名を入力します。

#### ② 【File Path】

画像を保存する場所を選択します。

#### ③ 【Image Type】

画像の保存形式を bmp と jpeg から選択します。

#### ④ 【Save with】

画像と一緒に保存したいものにチェックをつけます。

Measure … 距離測定値

Ruler … 校正値

Title … タイトル

Date/Time … 日付

#### ⑤ 【Description】

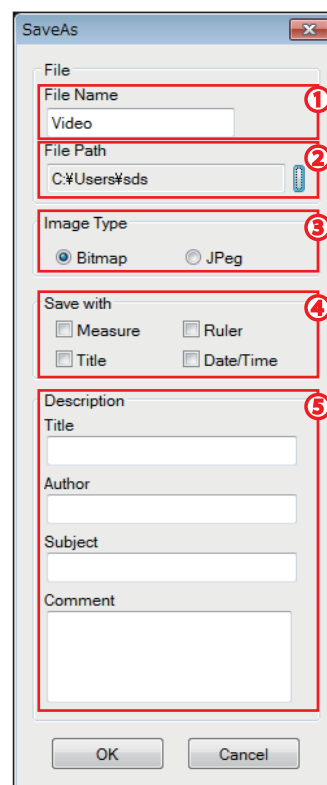
jpg 画像と一緒に作成環境情報を保存することが出来ます。

Title … タイトル

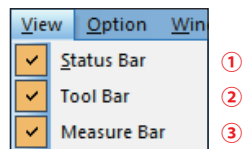
Author … 作成者

Subject … 件名

Comment … コメント



## ■View メニュー



## ① 【Status Bar】

チェックの有無でステータスバーの表示 / 非表示を切り替えることができます。

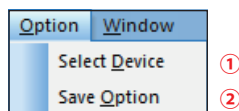
## ② 【Tool Bar】

チェックの有無でツールバーの表示 / 非表示を切り替えることができます。

## ③ 【Measure Bar】

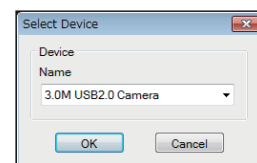
チェックの有無でメジャーバーの表示 / 非表示を切り替えることができます。

## ■Option メニュー



## ① 【Select Device】 アプリケーション起動時に毎回表示されます。

使用するカメラのドライバーを選択するウィンドウが表示されます。  
[Name] のボックスの右側にある ▼ をクリックすると、インストールされているカメラのドライバーが一覧表示されるので使用するカメラのドライバーを選択して、OK をクリックします。



## ② 【Save Option】

ワンクリックで画像を保存するための初期設定を行う機能です。

## ① 【Prefix】

保存する画像の任意のファイル名を入力します。

## ② 【Start Suffix】

ファイル名につける番号の最初の番号を入力します。

## ③ 【Folder】

画像を保存する場所を選択します。

## ④ 【Image Type】

画像の保存形式を bmp と jpeg から選択します。

## ⑤ 【Save with】

画像と一緒に保存したいものにチェックをつけます。

Measure … 距離測定値

Ruler … 校正值

Title … タイトル

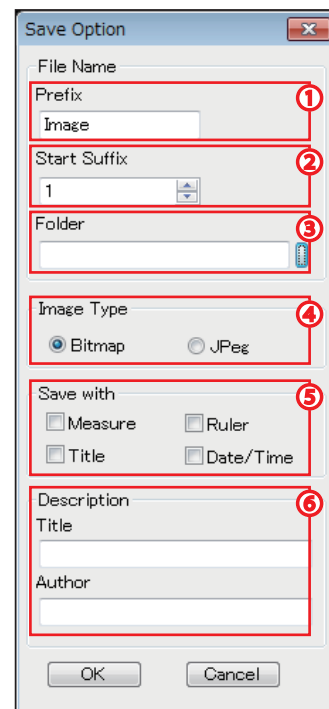
Date/Time … 日付

## ⑥ 【Description】

jpg 画像と一緒に作成環境情報を保存することができます。

Title … タイトル

Author … 作成者



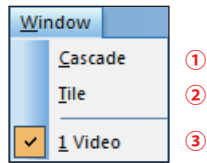
設定後、前述 File メニューの 【Save】 をクリックすると画像が自動的に保存されます。

保存されるファイル名は①[Prefix] + ②[Start Suffix] という名前になります。

例 . [Prefix] が『Image』 で [Start Suffix] が 『1』 の場合、ファイル名は『Image1』

[Start Suffix] は画像保存するたびに 1 ずつ増加します。『Image2』 『Image3』 …

## ■ Window メニュー



### ① 【Cascade】

複数タブのウィンドウを重ね表示します。

### ② 【Tile】

複数タブのウィンドウを分割表示します。

### ③ 【タブ管理】

開いているタブが全表示されます。アクティブウィンドウにチェックがつきます。

## 4. ツールバー詳細



### ① 【Open】

メニューバー File メニューの 【Open...】 と同一です。(P.2 参照)

### ② 【Save】

メニューバー File メニューの 【Save】 と同一です。(P.2 参照)

### ③ 【Save As】

メニューバー File メニューの 【Save As...】 と同一です。(P.2 参照)

### ④ 【Preview / Pause】

ライブ映像の一時停止、再生を切り替えます。

### ⑤ 【Capture one frame】

画像を一時的に仮保存します。仮保存画像はプレビューウィンドウにタブ分けされます。

実際に保存する画像の取舍選択や、ライブ映像との比較に利用できます。

### ⑥ 【Interval capture frames】

自動的に画像を保存するタイマーの設定をします。

スタート時間、インターバル時間、画像保存枚数を設定できます。

この機能を使用する際は、画像を保存するための初期設定を行う必要があります。(P.3 参照)

### ⑦ 【Show video property】

カメラのプロパティを開きます。カメラのプロパティでは映像の明るさや色の調整を行うことができます。プロパティの項目や文言はカメラによって異なります。

プロパティの詳細は別紙を参照して下さい。

### ⑧ 【Change video size】

カメラの解像度を変更します。ボックスの右側にある ▼ をクリックすると、カメラの持つ解像度が一覧表示されるので使用する解像度を選択します。

### ⑨ 【About】

Measure のバージョン情報を表示します。

## 5. メジャーバー詳細 ※メジャーバーは映像が停止している状態でのみアクティブになります。



① ② ③ ④ ⑤ ⑥

### ① 【Draw line】

マウスアイコンが に変わり、距離を計測する線を引くことが出来ます。

計測始点から計測終点までドラッグして線を引きます。

### ② 【Modify line】

マウスアイコンが に変わり、既に引いている線を修正することが出来ます。

計測始点もしくは計測終点をクリックして任意の位置までドラッグして修正します。

### ③ 【Delete】

既に引いている線を削除することが出来ます。

計測始点もしくは計測終点をクリックして線を削除します。

### ④ 【Delete all】

既に引いている全ての線を削除することが出来ます。

### ⑤ 【Calibration with ruler】

計測に必要な基準を決める校正を行うことが出来ます。(\* 2)

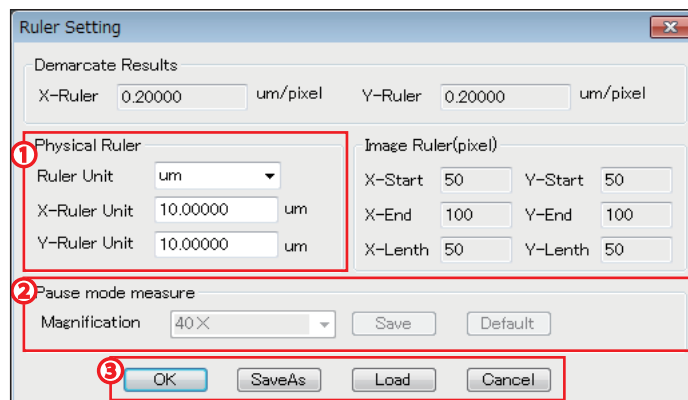
### ⑥ 【Set measurement color】

計測の線や文字の色、文字のサイズを変更することが出来ます。

表示されるウィンドウで各種設定を変更します。

## (\* 2) 校正について

校正用ウィンドウで校正を行います。



### ① [Physical Ruler]

Ruler Unit：使用する単位を  $\mu\text{m}$  , mm , cm , dm , inch の中から選択します。

X-Ruler Unit：X 軸の校正值を入力します。

Y-Ruler Unit：Y 軸の校正值を入力します。

### ② [Pause mode measure]

現バージョンでは使用しません。

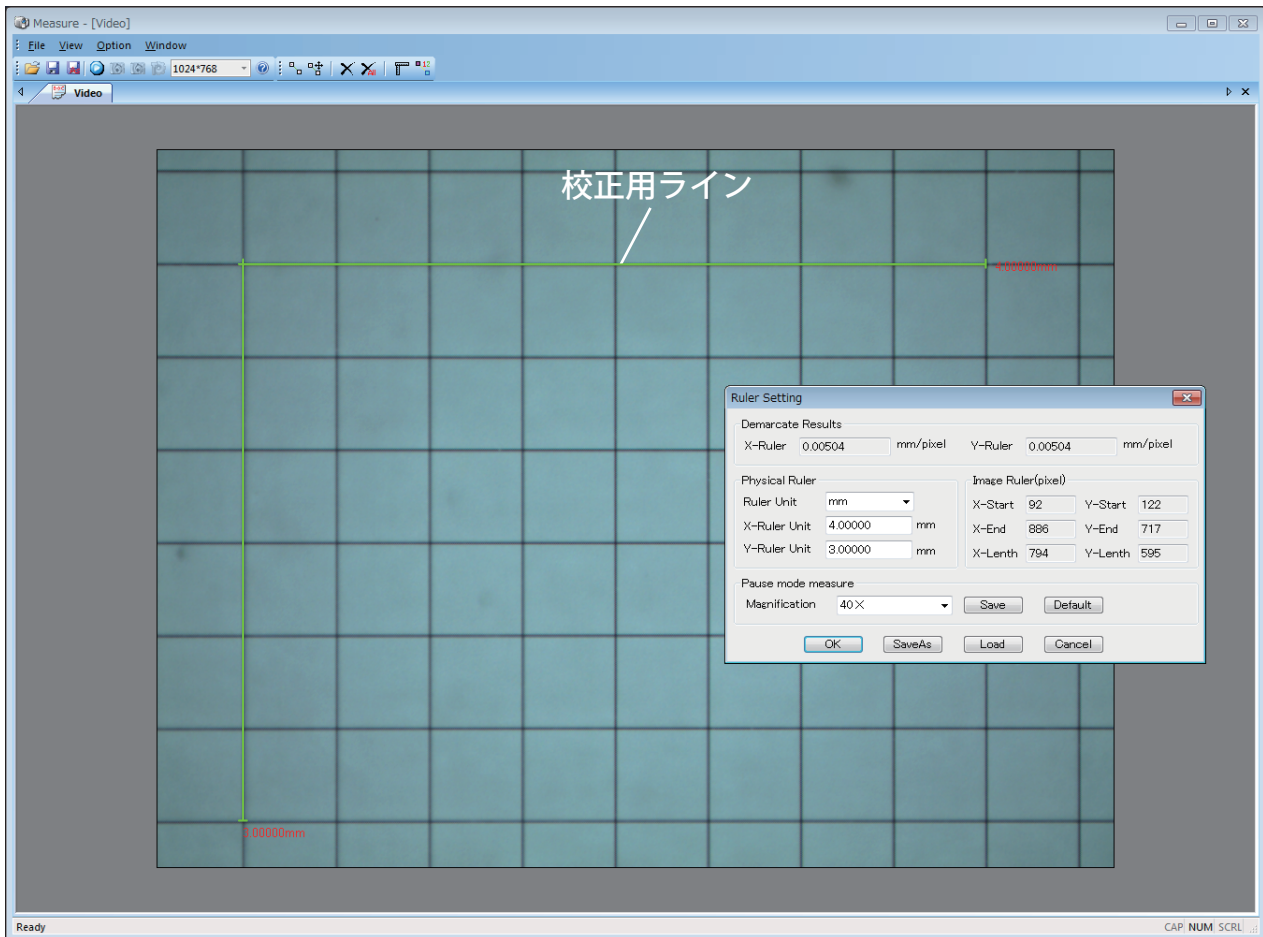
### ③ OK：校正值を確定します。(校正值の保存はされません。)

**SaveAs**：校正值を任意のファイル名で任意の場所に保存します。

**Load**：保存した校正值を読み出します。



## 校正方法



1. 校正を行う倍率で基準となるスケールを映し出します。
2. メジャーバーの【Calibration with ruler】をクリックして校正用ウィンドウを表示します。  
校正用ウィンドウが表示されると同時に画面上に校正用ラインが表示されます。
3. 校正用ラインをドラッグして左上の交点をスケールの任意位置にあわせませす。
4. 校正用ラインの X,Y の端をそれぞれドラッグしてスケールの任意位置にあわせませす。
5. 校正用ウィンドウで校正用ラインのそのときの長さを X,Y それぞれ入力します。
6. OK ボタンをクリックすると校正が完了します。

校正値を保存して完了する場合は SaveAs ボタンをクリックします。

校正は計測する倍率を変更する度に行う必要があります。

一度校正をした倍率の校正値を保存しておくことで再度その倍率で計測を行う際に、校正値を Load ボタンで読み出して使用することができます。

校正完了後にメジャーバーの【Draw line】で2点間距離の計測を行います。

※本ソフトウェアはリアルタイム映像上での計測はできません。